



発行 **岡山県産業労働部産業振興課**
(平成23年2月) 〒700-8570 岡山市北区内山下二丁目4番6号
電話：086-226-7352 FAX：086-224-2165

編集 **倉敷ファッションセンター株式会社**
〒711-8555 岡山県倉敷市児島駅前一丁目4番地
電話：086-474-6800 FAX：086-474-6801
<http://www.k-fc.com/>



**おかやまの
せんい**



おかやま のせんい

CONTENTS

はじめに	01
岡山せんいヒストリー	02
岡山中で盛んなせんい産業	04
他にもこんな全国上位品目が	06
話題のせんい企業	09
街でふれるせんい	25





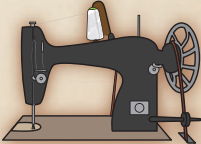
写真協力（五十音順）


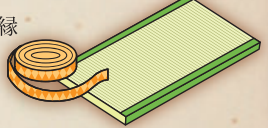
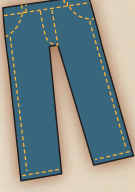

明石被服興業(株)	スミクラ(株)
石井織物工場	(株)タカラ
烏城物産(株)	(有)ダニアジャパン
襟立製帽所	(株)寅吉
大川被服(株)	ナイカイ企業(株)
(株)荻野本店	(有)マルミツアパレル
河合産業(株)	森長(株)
倉敷繊維加工(株)	横山製網(株)
(株)神馬本店	吉河織物(株)

はじめに...

岡山県は、江戸時代に始まった綿花栽培を基礎に発達した真田紐や小倉織などを起源に、古くは足袋の産地として知られ、現在、学生服、ジーンズ、ワーキングウェアなどのアパレル製品をはじめ、デニムなどの先染め綿織物、帆布、畳縁など様々な繊維製品の生産が盛んな国内有数の産地です。岡山県の繊維産業は、全国第3位の製造品出荷額を誇り、県を代表する産業の一つであることはもちろん、糸から生地をつくる「製織」から、生地を染める「染色」、生地から衣服をつくる「縫製」まで様々な業種が集積していることが強みです。この冊子ではそんな岡山県の繊維産業の歴史、現状、未来へつながる商品開発や取組までをご紹介します。

岡山せんいヒストリー

時代	年		
江戸時代	中期初期	もともと海だった県南に高梁川などの土砂が堆積し、浅くなった海の干拓事業が進む塩気に強い綿花が児島などで広く栽培された	
	天和年間 (1681~1683)	井原では1650年頃から成功していた綿花の栽培に加え藍の栽培が始まった井原の藍染め織物はやがて備中縞として全国に知られるように	
	江戸後期	真田紐、袴地生産、小倉帯地の生産が始まる	
		由加山参拝が人気 土産物として真田紐、小倉織など大ヒット	
明治時代		日本産業革命 産業革命の幕明けは綿製糸などの繊維産業と言われる	
	明治 7 (1874)	笠岡に製糸場が設置される	
	明治 10 (1877)	津山養蚕糸伝習所が設置される	
	明治 13~ (1880)	下村、玉島、倉敷、笠岡…紡績会社が次々と設立	
	明治 24 (1891)	地方最初の動力機械を導入した井原織物所が創立	
	明治 39 (1906)	与田銀次郎が腿帯子、韓人紐を朝鮮半島・中国大陸などへの輸出が始まる	
		同じ年、松三曙が初めて動力ミシンを導入足袋製造が発展する	

時代	年		
大正時代	大正 8 (1919)	足袋製造ピーク 2025万足	
	大正 9 (1920)	足袋の生産減少し、小倉厚地などの学生服の生産が始まり販路が拡大	
	大正 10 (1921)	光輝畳縁生産始まる 関東大震災後は唐琴を中心に光輝畳縁の生産が飛躍的増 一大産地に	
昭和平成	昭和 27 (1952) 頃	合織の学生服が増え合織メーカーが系列化	
	昭和 35 (1960) 頃	井原、厚地織物の生産・縫製技術を生かし、デニム地・ジーンズ生産が始まる	
	昭和 40 (1965) 頃	全国で初の国産ジーンズの生産開始 ジーンズブーム 生産増大へ	
	昭和 39 (1964) 頃	光輝畳縁の生産が全国の8割に	
平成元年 (1989) 頃	D Cブランド学生服誕生		
		ジーンズ・デニムは技術と品質を味方に世界へ学生服はまちづくりをリードし、教育に寄与する産業に	

岡山で盛んなせんい産業

学生服



岡山県では大正時代終り頃からそれまでの足袋生産に代わって、学生服が盛んに作られるようになりました。詰襟やブレザー型など、現在、全国の70%近くを県内のメーカーが生産しています。また、学校体育衣料、織物製スクールシャツの生産も盛んに行われています。

アクティブで長期にわたるスクールライフに必要なのは丈夫な縫製と安心できる素材。

岡山県の学生服は、性能試験に合格した最高レベルの素材が使われ、厳重な縫製仕様により作られています。また新入学時に集中する納期にも国内中心の自社工場と協力工場がフル対応しています。

ジーンズ



倉敷市児島では昭和40年(1965)に日本初の国内で縫製されたジーンズが誕生したことから「国産ジーンズ発祥の地」と言われています。

また、井原市も古くから現在のデニムに類似した裏白小倉織物が作られ、デニムも昭和30年代中頃から生産されていたことから「ジーンズのふるさと」と呼ばれています。

これらの地域には、素材から縫製、洗い加工、仕上げまでの業種が集積し、ジーンズ一貫生産のできる産地が形成されています。日本で生産されるジーンズの多くが、何らかの形でここを経由して市場に出ていると言っても過言ではありません。ジーンズを知り尽くした技術者による革新的な素材開発、デザイン、加工で、世界をリードするジーンズが生み出されています。

ワーキング・ユニフォーム



岡山県では様々なユニフォームが生産されています。

ワーキングウェア(作業服)、篤服、介護ユニフォーム、サービス業向けソフトワーキングウェア、男女ペアユニフォーム、女子オフィスユニフォームなど。業種別では警備服、ドライバー用制服、運送業向けの別注ユニフォームのほか警察向けなどの官公需制服も多く作られており、用途別や業種別に分野を絞り込んだ生産がなされています。

岡山県は作業服からサービス業・イベント用ユニフォーム等制服なら何でも揃う一大産地です。

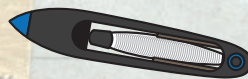
畳縁(たたみべり)



現在の倉敷市児島唐琴地域では、江戸時代の真田紐からの伝統を受け継ぎ、大正10年(1921)頃から「光輝縁(こうきべり・光沢糸)を使用した細幅で織り上げた畳縁」の生産が始まりました。現在も全国の光輝縁の約80%が作られるまでに発展しています。

畳空間を個性的に演出する畳縁。伝統的な家紋柄から洋風柄、キャラクター柄まで多彩な織り柄、色使いで、新しい和の魅力を提案し続けています。最近ではバッグ、小物類などに応用された商品も好評です。

織物



岡山県で生産される織物は帆布やデニムがよく知られています。

帆布は細い糸を何本か撚り合わせて高密度に平織りにした厚地の布。幌、テントのほか、素朴な風合いが人気で、バッグ、靴、ジャケットなどのほか、生活雑貨、ステーションナリーなどにも用途が広がっています。歴史は古く、倉敷市曾原地域で全国の約70%が生産されています。

デニムは井原市で多くつくられ、超長綿など原料にこだわった高品質なモノづくりが特徴です。岡山県のデニムは欧米でもたいへん高く評価されています。

他にもこんな 全国上位品目 が...

前頁で述べた他にもたくさん
の繊維製品が全国上位を占めています。
(平成20年工業統計 品目編 一部順位は岡山県発表値)

1位

織物製ワイシャツ



出荷金額(百万円) 4,283
出荷額構成比 26.2%

ドレスシャツ、カッターシャツとも呼ばれる。県下では学校向けのものが多い。

合成繊維縫糸



出荷金額(百万円) 2,691
出荷額構成比 29.7%

天然繊維以外のナイロン、ポリエステルなどの縫糸。県北のメーカーで多く作られている。

その他の綿広幅糸染織物



出荷金額(百万円) 3,508
出荷額構成比 47.9%

染色された糸で織り上げる綿織物。デニム、ダンガリー、チェック地など。

2位

織物製成人男子・少年用制服

上衣・オーバーコート類
ズボン

出荷金額(百万円) 1,229
出荷額構成比 19.7%

出荷金額(百万円) 763
出荷額構成比 50.9%

制服とはここでは警察、消防、自衛隊などの官公需用の制服。その上衣類やズボン。



織物製事務用・作業用・衛生用衣服



出荷金額(百万円) 33,642
出荷額構成比 34.2%

働く人、作業する人向けの織物製の衣服全般。ジーンズもここに含まれる。

繊維製袋



出荷金額(百万円) 6,193
出荷額構成比 40.2%

麻袋、ガンニーバッグ、ヘッシャンバッグ、南京袋、スフ袋、合成繊維袋など(身の回りの袋物以外)。

織物製成人男子・少年用 背広服ズボン(替えズボンを含む)



出荷金額(百万円) 1,915
出荷額構成比 14.9%

小学生~成人男子用のスラックスなど。成人向けはスポーツカジュアル傾向のものが増えている。

ナイロン漁網



出荷金額(百万円) 1,251
出荷額構成比 19.5%

結び目のある有結節網と無結節網があり県南東部で有結節網が多く作られ、刺し網漁に使われている。

プレスフェルト生地(ニードルを含む)、 不織布(乾式)



出荷金額(百万円) 21,770
出荷額構成比 10.7%

不織布は繊維を織物にせず、絡み合わせて作った布。フェルトは繊維を集めて圧縮し、シート状にしたもの。

織物製成人女子・少女用 スカート・ズボン



出荷金額(百万円) 5,153
出荷額構成比 15.5%

小学生~成人女子用のスカートやズボン。

織物製乳幼児服



出荷金額(百万円) 1,138
出荷額構成比 15.9%

未入学児童向けの織物製衣服。上衣、ズボン、スカート、レインコート、ロンパース、園児服等。

織物製成人女子・少女用学校服



詰襟、ブレザー、セーラー服などの学生服

ニット製スポーツ用

上衣
ズボン・スカート

出荷金額(百万円) 5,652
出荷額構成比 20.6%

出荷金額(百万円) 2,511
出荷額構成比 17.1%



ジャージなどの編み生地を使用したスポーツ向け衣料。県下では学校体育衣料も多い。

3位

その他の 綿広幅生地織物



出荷金額(百万円) 2,922
出荷額構成比 13.2%

染色していない糸で織り上げる織物。白生地と呼ばれるものや、生織り生地。後で染める場合もある。綿帆布やカッタラギ、ギャバジンなど県下でも幅広く作られている。

合成繊維帆布製品

出荷金額(百万円) 7,041
出荷額構成比 12.2%

合成繊維の帆布を使った、シート、テント、日よけ、幌等。



織物製成人女子・少女用
オーバー・レインコート

小学生～成人女子用の織物製の衣服のうち、トッパコート・スプリングコート・ママコート等、防寒や防雨のための上衣。

出荷金額(百万円)
540
出荷額構成比
13.1%

織物製成人女子・
少女用制服

出荷金額(百万円)
125
出荷額構成比
12.8%

警察、消防、自衛隊などの官公需用の女性用の制服。

織物製その他のシャツ



出荷金額(百万円)
421
出荷額構成比
15.2%

ワイシャツ以外の開襟シャツ、襟なしシャツ、アロハシャツ等

織物製帽子



出荷金額(百万円)
1,405
出荷額構成比
10.7%

ここでは麦わら帽以外の帽子を指す。麦わら帽製造から発展して県南西部が主な産地。ユニフォーム向けも多い。

話題のせんい企業・街でふれるせんい

岡山県では、江戸時代から続く老舗企業から新興メーカーまで、様々な業種、規模の企業が繊維製品を製造しています。その製品は足袋、組紐などの伝統的なものからカジュアルファッションの中心アイテムであるジーンズまで多岐にわたり、織物をはじめ、染色、ジーンズ洗い加工等の業種も高い技術力を誇っています。

岡山県繊維産業の県内製造事業所数は704事業所^{※1}で、製造される製品は100品目^{※2}を超えています。

次ページからの「話題のせんい企業」では、そんな岡山県繊維産業界で、ユニークさや技術力など話題の企業をご紹介します。

また、25ページからの「街でふれるせんい」では、多くの人々に産地に親しんでいただけるよう、企業や業界団体等が取り組んでいる事例をご紹介します。

※1 平成20年工業統計「産業編」従業員4人以上の事業所。

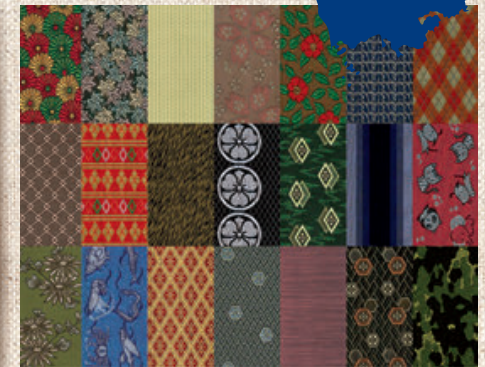
※2 工業統計用に設定された品目分類による。

1000種類の
畳縁で畳空間を
個性的に演出

畳縁製造卸
高田織物株式会社

倉敷市児島唐琴

086-477-7162



高田織物(株)は、「大宮縁」の商標で約1000種類もの畳縁を製造している、昭和25年設立の業界大手企業です。当初は、綿の無地縁中心に製造していましたが、昭和37年に、業界初の合織の紋縁を開発し、全国的にも知名度の高い企業となりました。

当社では、畳空間は、畳縁により変化すると考え、畳縁の種類を豊富にし、畳縁を選ぶことができるよう、新柄、新素材、新織法などの開発を進めてきました。

洋風デザインのシリーズや、居酒屋、日本料理店等に向けた魚の図柄や魚名の漢字柄シリーズ、保育園向けの動物柄シリーズ、さらには環境にやさしい紙糸を使用したものから、抗菌材入りの機能的なものまで、実に様々な商品を生み出しています。

こうした多種多様な畳縁を生産するため、業界に先駆けて最新設備の導入を進め、現在では、ニードル織機9台(メカジャガード搭載織機50台、電子制御ジャガード搭載織機25台、ドビー搭載織機19台)の設備を有し、月産400万メートルの畳縁の生産能力を有しています。

当社では、今後も畳文化の良さを守り伝えながら、全国の畳空間を創造していく考えです。



ホームページでは6種の部屋様式×6つの色調の画像が、畳縁選びを手助け



電子ジャガード搭載の織機



畳縁をアレンジしたグッズ



先染め綿帆布で 需要が広がる

帆布製造
丸進工業株式会社

倉敷市曾原

086-485-1211



綿・麻の帆布メーカーである丸進工業(株)では、綿帆布の新たな可能性を求めた取り組みを進めています。帆布のような白生地を扱う織物工場では、帆布への着色を嫌い、先染めの織糸を使うことはタブーと言われていましたが、先染めにより帆布の新用途や新商品開発が期待できると考え、先染め帆布への取り組みを進めてきました。

開発に当たっては、糸を多品種小ロットで染めてくれるところがなく、苦労しましたが、引き受けてくれるところが見つかり、帆布にふさわしい染色方法を実用化できました。

こうして開発した先染め綿帆布は、糸の撚りから自社で行い、手作りの風合いを出せる昔ながらのシャトル織機で織り上げられており、生地の両端に織物の耳(セルヴィッジ)ができ、上品で美しいストライプ柄も表現されています。

同社では、この先染め綿帆布を使用し、バッグなど衣料雑貨の製品化や、文具メーカーと連携し、ペンケース・ブックカバー・名刺入れなど文具の製品化に取り組むなど、その用途を広げています。

また、帆布は、木や革などの相性が良く、(株)クラレの人工皮革「クラリーノ」と組み合わせ、i-Padケースやトレイなどの生活雑貨として製品化もされています。



ブックカバー

クラリーノと組み合わせた
トレイ、ペンケース

グループ会社バイストンの
ショップでは後染め帆布の
切り売りも

綿花から栽培して 井原産デニムづくり

デニム製造
吉河織物株式会社

井原市高屋町

0866-67-0134



繊維長33ミリ以上の高級綿を使った、しなやかな感覚と光沢感のあるデニムを主に製造している吉河織物(株)。「ずっとデニムに携わってきて、綿花栽培からデニム作りまでを手掛けてみたいと思っていた」と語る吉河社長は、デニムにかける熱い思いと、「ジーンズのふるさと」と言われる井原市のPRのため、綿花栽培からジーンズ製造までのすべてを井原で行うことに取り組みました。

まず、井原市内の農家と契約し、平成22年4月に、900坪の休耕田に綿花の種を植えました。種も、日本産のものを使用し、無農薬で栽培するなどことごとこだわり、社長はもちろん社員も毎日草取りに励みました。その結果、900坪のうち600坪で無事綿花が育ち、原綿で約150キログラム(ジーンズ50~75本分)を収穫できました。収穫した原綿は、昔ながらの木製機械を使い、手作業で種を取り、天日で乾燥させています。

紡績の後、井原市の染工場で染め、さらに自社で織りあげて、社長が家業を継いだ昭和44年当時のデニムを再現する予定です。どのようなデニムが出来上がるのか今から注目が集まっています。



綿の花

手作業で種を取る

収穫した原綿

綿花畑での吉河社長

オリジナル テキスタイルの開発

テキスタイル開発・販売
株式会社ワン・エニー

岡山市南区箕島

086-282-6996



(株)ワン・エニーは、オリジナルテキスタイルの開発・販売を手掛ける会社です。他社が作っているものは、仕入れて販売すればいいのであって、他社が作らないものを作るという同社では、原綿からオーダーし、糸の段階から、オリジナル生地を開発しています。

オーガニックコットンの^①41カーキ^②ウエストポイント生地もその一つ。栽培する環境によってそれぞれ色が違う、世界各地のオーガニック原綿を混ぜ合わせ、無染色で41カーキに近い色を作り出しました。それを双糸に^③撚り合わせ織りあげた高密度のウエストポイント生地は、「先染めでも出せない」風合いと評判です。

その他にも、織物業界で使われるマス見本布をモチーフに、2マスごとにヨコ糸の色を変え、676色もの色を表現したチェック柄の生地を開発するなど、独創性にあふれたテキスタイル開発を行っています。

今後は、ファッション素材だけでなく、防災・防弾・防電磁波などの機能性素材の研究にも取り組みたいと意欲的です。



サンプルが並ぶ事務所内



41カーキウエストポイント

①41カーキ：1941年に主に米軍パイロットに支給された「M-41」と呼ばれるジャケットやパンツに使用された色。また、その生地。

②ウエストポイント：通称「ウェボン」。主としてコマ糸の双糸を使用した、たて四つ綾(3/1)生地。ニューヨーク州同名地に米軍施設があり、軍用に使われていたことから付けられた。

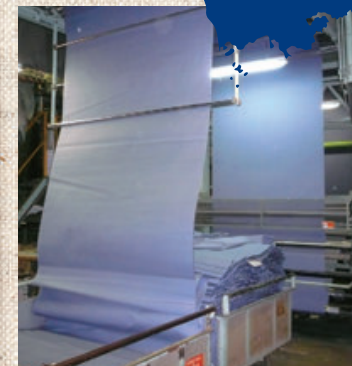
ユニフォーム素材の 染色で存在感

染色

正織興業株式会社岡山工場

岡山市北区中井町

086-224-3281



仕上げ工程

ポリエステル・綿混紡素材の染色が主力の正織興業(株)岡山工場は、ロットが異なっても色ムラのない高い染色技術を持つことから、同色製品の継続的な供給が求められるユニフォーム素材の染色には欠かせない存在となっています。

ユニフォームは、団体に継続して着用するため、色ムラがなく均一に染まっていることが求められますが、海外の染色技術ではこうした色管理が難しいと言われています。そうしたことから、同社の安定した、優れた染色技術がクローズアップされ、海外で作られた織物を同社で染色した後、海外縫製を経て国内で販売されるケースが増えています。

同社では、新しい素材については、どのような色でも、染料を作って、モデル試験機で徹底した確認試験を行っており、長年のノウハウとシビアな色管理で高品質を維持しています。

また、染色の他にも、寸法安定、抗菌、消臭、撥水などの機能加工にも幅広く対応しています。



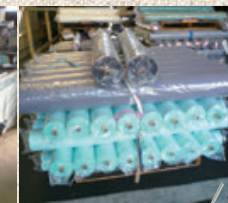
社屋



液流染色機



染色試験機



染色された原反

高度な技術で 環境対策を実現

ジーンズ洗い加工
豊和株式会社

倉敷市児島田の口

086-477-6051



レーザー加工のチャート(見本)

ジーンズ洗い加工大手の豊和(株)は、単なる製品洗い技術だけではなく、環境保護につながる加工方法を数多く開発し、工場排水を極限まで減らすことに力を注いでいます。

「エアウォッシュ加工」は、空気から生成したオゾンの酸化作用によりジーンズを脱色加工する技術で、加工後は、オゾンは酸素に還り、脱色剤の成分が製品に残ることはありません。また、岡山県工業技術センターなどと共同で開発した、超臨界二酸化炭素^①を利用した染色法や、レーザー光線による中古加工など、水を使用しない加工技術を次々と開発しています。

また、「エコブリーチ加工」は、ブドウ糖を脱色剤として使い、塩素系脱色剤などを使用しないため、環境負荷が大幅に低減されるとともに、化学薬品の残留がなく高い安全性を確保しています。

このように工場排水を減らすと同時に、独自の厳しい排水基準を設定し、さらに、ジーンズ1本加工するごとに発生する有害物質の排出量も把握し管理しています。

平成10年には同社玉野工場が、国内繊維企業の中で2番目となるISO14001の認証を取得するなど、早くから環境問題に取り組んでいます。

①超臨界二酸化炭素：高圧にして液体と気体の両方の性質を持つ状態にした二酸化炭素



レーザー光線による加工を行う装置

超臨界二酸化炭素装置

オゾン脱色装置

デニムスーツで 素敵な着こなし提案

デニムスーツ製造販売
株式会社ナッシュ

「インブルー」

倉敷市児島稗田町

086-474-4970



(株)ナッシュでは、ブルーデニムの新たな可能性を迫り、ビジネスなど、オフィシャルな場所でも着用できるブルーデニムの本格的なオーダースーツ・ジャケット「インブルー」ブランドを製造販売しています。

「インブルー」ブランドは、30年以上デニムのビジネスに携わり、インディゴの色・糸の質・織りの良し悪しを知り尽くしている同社の光本社長が、年齢やスタイルを限定してしまっている今のデニムに新風を吹き込み、デニムをジーンズというカジュアルなファッションだけでなく、フォーマルな世界にも広げたいという願いでスタートしたものです。

製品の多くは、繊維長35ミリ以上の超長綿を使用し、糸の芯まで染めた独自開発のブルーデニム「エバーブルーデニム」で製造しているため、光沢感があり、軽くてやわらかで、着やすく、色落ちしにくいという特徴を持っています。

今までジーンズに親しんできた人達にも、インディゴブルーの美しさを再認識し、ジーンズ以外のブルーデニムの魅力も知ってもらいたいという思いから開発されたデニムスーツは、従来の「ブルーデニム」イコール「ジーンズ」という概念を変える製品です。



デニムスーツ・ジャケット

店内に並ぶジャケット

軽くなやかなジャケット
見る角度により表情が変わる

店舗外観

岡山発デニム・藍(青) で世界を目指す

ジーンズ・本藍染め製品製造販売
有限会社藍布屋

倉敷市児島味野

086-470-5056



本藍染め製品や、桃太郎ジーンズ企画製造・販売の(有)藍布屋は、「日本の藍(青)」にこだわった伝統的で革新的な岡山発デニム、ジーンズを創造し、世界を目指すという目標に向かって活動を続けています。

こだわりを実現するため、本藍染め工房「藍のぞき」(倉敷市児島駅前)、手織り機の織物工場「鶴の工房」(同児島味野)、そして味野縫製工場を設け、糸染めから縫製まで自社一貫生産しています。

「藍のぞき」は、本藍染め専門の工房。天然藍葉を発酵させた「すくも」を使用した昔ながらの手法で本藍染めをしており、藍染め体験もできます。(予約制)

また、直営ショップ桃太郎ジーンズ味野店内の「鶴の工房」では、自社開発した手織り機で手織りデニムが作られています。

さらに、味野縫製工場ではアメリカ製のビンテージマシンが集めてられおり、このマシンを使って熟練職人の手で縫製される本藍染め・手織りデニムジーンズが、同社最高級の「桃太郎ジーンズ金丹レーベル」です。また、岡山県工業技術センターなどと共同で藍染料の量産技術を開発し、コストダウンを図り、「桃太郎ジーンズ銀丹レーベル」も発売しています。



「藍のぞき」の工房内

「鶴の工房」の手織り機

味野縫製工場の
ビンテージマシン

オリジナル素材で 高級ミセス向けパンツ

婦人服製造卸

株式会社アサヒデフネ

倉敷市児島赤崎

086-472-7011



ミセス向け高級婦人パンツを製造している(株)アサヒデフネでは、製品づくりに当たっては、素材からの差別化を進めています。その一つが、織物でありながらニットと同等の伸縮性を有する、同社オリジナル素材「ネキステーション」の婦人パンツです。

開発に当たっては、輸入品との価格競争を避けるため、海外にない素材の開発から始める必要がありました。また、ニット素材と同様にはきやすく、シルエットの美しい織物製パンツの要望が多くあったことから「ネキステーション」の開発に着手しました。

「ネキステーション」は、横に70%・縦に30%のストレッチ性があり、伸びても元に戻るキックバック性に優れており、ヒザ部分が型崩れしにくいなどの特徴を持っています。また、ニットに比べ織物特有のしなやかな「落ち感」がエレガンスパンツに最適で、さらに、センタープリーツが可能です。

「ネキステーション」を使ったパンツは、特殊改造マシンを使った縫製で、インベル仕様(ウェストにベルト芯がある仕様)ですが、ウェスト部分は糸切れせずに総ゴムパンツ同様に伸び、さらに脇の割り縫いを施すなど、細部まで手を掛けています。



ネコのキャラクターで親しまれている

着心地と美しさにこだわった
ウェスト部分

キックバック性(戻り性)に優れたネキステーション

正義と安全を後押しする警察向け衣料

ユニフォーム製造販売
有限会社サンソーイング

真庭市上水田

0866-52-3159



(有)サンソーイングは、「POLICE GEAR」ブランドとして、警察・消防・海上保安庁などに向けたロゴ入りブルゾン、精巧な刺繍キャップ、腕章、小物などを製造販売しているメーカーです。

商品は、一般・個人に販売できないため販売先が限られる中、現場の声を聞き、捜査の機微に配慮して製造してきました。例えば、ベスト・ジャケット類のリバーシブル仕様や隠せるロゴは、潜入捜査などのための工夫。素材も通気性素材を特注したり(夏物)、滑りの良い着脱がスムーズなものを選んでいきます。

また、ワッペンなどは、海外ではできないきめ細かな刺繍が施された、国内生産されたものを、自社でカスタマイズしているほか、プリントTシャツには、士気を高めるスローガンや、市民が親しみを感じるかわいらしくユニークなデザインを多く提案しています。

同社はかつて下請け縫製工場として仕事の減少に苦しんでいた中、「全国を相手にしたメーカーに…」との思いでユニフォームメーカーに転身。長年の縫製経験を生かし、アイデアと工夫を続ける同社へ期待はさらに高まりそうです。



メッシュベストとキャップ

Tシャツ、ブルゾン採用例

セキュリティに関する国際会議でメッシュベストが展示され、発表チームが入賞

ウォーキングアイテムで新商品開発

雨衣・レインコート製造販売
スミクラ株式会社

岡山市北区十日市中町

086-233-5171



スミクラ(株)は、創業100年を超える、雨衣、レインコート専門の老舗メーカー。「ストリートシャワー」ブランドで有名で、通学用、作業用雨衣で高いシェアを確保しています。

得意の防水加工技術を生かし、異業種とタイアップしたウォーキングアイテムの開発に取り組んでおり、靴メーカーとライセンス契約した「ワールドマーチ」ブランドで、ウォーキングパーカー、レインジャケットなどを開発・販売しています。製品企画では、風を気にせずウォーキングできるように、パーカーフードの裏に帽子(キャップ型)固定フックを付ける工夫が生まれました。

また、いつまでも飽きられないロングライフな商品を作りたいとの思いから、船舶用プロペラ大手メーカー、ナカシマプロペラ(株)のデザイン部門と共同で、「TASKEL®(タスケル)・バッグ」を開発しました。このバッグは機能的なデザインや、高輝度反射材がアピールポイントで、特に夜間のウォーキングや、サイクリング時にポケット代わりにもなる交通安全対策を施したショルダーバッグです。



フード部分のキャップ固定フック

「ワールドマーチ」ブランドのウォーキングパーカー

「タスケル・バッグ」反射材タスキで夜間も安全

おしゃれなデザインが特徴の「タスケル・バッグ」

話題の
せんい企業

高度な専門技術で
高級コート製造

コート製造卸

株式会社野海

倉敷市児島稗田町

086-472-2944



(株)野海は、高級コートの専門メーカーで、県内自社工場で裁断からプレスまで一貫生産しています。

同社は、部位毎に専用機を備えた縫製技術を活用しており、その品質は百貨店からも高い評価を得ています。こうした優れた縫製技術は、特にダブルフェース生地のコート製造で発揮されています。

2枚の生地を重ね合わせたダブルフェース生地のコートでは、袖、襟、比翼などの縫い合わせの部分をそのまま縫うと、縫いしろが厚くなってしまいうため、軽量化とデザイン性の面から、その部分の生地をはがして、内側に折り込んだり、片面だけ切り抜いた後に、再度はぎ合わせるという細かい作業が必要です。

同社は、独自に開発した装置で、ダブルフェース生地のはがし工程を機械化し、ミシンで美しくはぎ合わせ、作業のスピードアップを実現しています。また、芯地を入れられなくても型崩れしないという高い縫製技術を誇っています。



ダブルフェース生地コートの内側
すっきりとした仕上がり



はがし装置



軽量化ブームの中、あえてクラシックタイプの
コートも新商品として提案
世代を超えて長く愛用できる

話題の
せんい企業

足袋製造一筋の
100年企業

足袋製造

株式会社田辺商店

倉敷市玉島長尾

086-522-3556



「福神足袋」「大黒足袋」を製造する(株)田辺商店は、明治39年の創業以来、100年以上にわたって足袋を作り続けている、岡山県でも数少ない老舗足袋メーカーです。

岡山県では大正末期から昭和初期にかけ、多くの足袋メーカーが学生服、作業服に転換しましたが、「継続は力なり」をモットーに、会社が大きくもうからなくても、お得意先やお客様、そして社員に満足してもらえればいいという精神で足袋製造を続けてきました。

足袋は、メーカーごとに型が違い、人によって合う合わないがあるため、固定客化することが多く、毎日ずっとはき続ける人ほど好みが分かります。そうした中、同社の足袋がコンスタントに売れ、寺院、神社関係者や整体師にも多く愛用されているということは、品質が安定しており、リピート客が多いことを物語っています。

現在、同社ではブロード、キャラコ素材の白足袋を中心に月1万足をすべて国内生産しており、この他にも、刺繍入り、柄もの、レースものなどをはじめ、竹繊維、麻繊維を使用した夏用足袋、冬用に断熱材入り保温・蓄熱足袋など、幅広い足袋を作っています。



社屋



大正11年当時の本社と社員



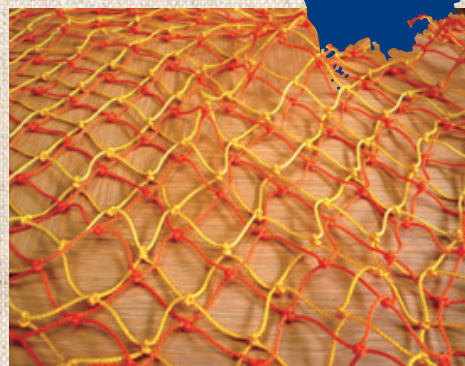
昔ながらの木型で成形

沿岸漁網(刺し網) のトップメーカー

漁網製造
横山製網株式会社

瀬戸内市邑久町虫明

0869-25-0111



横山製網(株)は、沿岸漁業で使われる刺し網^①を製造しており、全国生産量の50%近いシェアを誇ります。刺し網は品質が漁獲量に大きく影響する漁網であり、高い技術で漁業者より厚い信頼を受けています。

同社では、漁網用に開発された切れにくいナイロン糸のモノフィラメント^②等の網を使用する漁場の状況や対象となる魚種などに合わせ、糸の太さ、網目の大きさをミリ単位で調整するオーダーメイドにより生産しています。

ミリ単位の作業となるため、原糸の状態が安定するよう、室温を一定にして保存するなど、原材料管理、品質管理には万全を期しています。

また、「クロスネット」技術は2枚の交差した網を一度に織り上げ、従来の網を結合するコストから脱却した画期的なもので、特許を取得しています。

最近では、漁網技術を応用し、装飾雑貨や、半年で土に還るグリーンカーテン用の和紙製ネット、栄養素の包みをロープ状の網で取り付け、養殖ノリ等の成長を促す「海養力」など、様々な視点から新商品の開発を進めています。

- ①刺し網：魚が頭部を網目に突っ込んだ状態で絡め取る網
- ②モノフィラメント：長繊維の単糸(釣りのテグスと同様の糸)



からくりのように複雑な動きの織機工程

自動投入の染色槽
漁師の色の要求度も高い

湯引き工程

世界一の仕上げ
(スチームセット)工程

使い方簡単 アイデアマフラー

ユニバーサルデザイン製品製造販売
東洋繊維興業株式会社

津山市林田町

0868-22-9204



リバーシブルミフラー

東洋繊維興業(株)は、アイデアマフラーなど、ユニバーサルデザインの冷え対策製品を開発製造しています。

同社では、産学官共同で介護衣料の研究開発に取り組み、介護衣料に関する様々なデータを集め、その成果をユニバーサルデザイン製品の開発に活用しています。

片手で巻けるマフラー「ミフラー」を開発し、販売を始めたのに続き、締めつけず・ずり落ちない、ふくらはぎ専用ウォーマー「ミーテ・ミーテ」、多様な使い方が簡単にできるタオル「ふくふくタオル」などのアイデア製品を次々に打ち出しています。

どんな人でも自由に、簡単に使え、安全で身体への負担が少ないというユニバーサルデザイン製品は、高齢者や体の不自由な人など特定の人だけではなく、健康者にとっても使いやすいものです。同社は、ユニバーサルデザインの考え方を追求すれば、自ずと顧客満足度の高い製品につながるという考えで新製品開発を進めています。



ふくらはぎ専用ウォーマー
「ミーテ・ミーテ」



マフラー・類かぶりなど
7通りの使い方ができる
「ふくふくタオル」



両端が輪っかになった「するっとタオル」

ブラックシリカ 練り込み繊維 「BSファイブ」

肌着製造販売
加茂繊維株式会社

津山市加茂町

0868-42-2428



ウエストウォーマー

体を芯から温める、着る岩盤浴「BSファイブ」は、加茂繊維(株)のオリジナル機能繊維であり、「独自の商品を開発しないと地方から発信しても市場に受け入れてもらえない」との思いで岡山県の支援事業を活用し開発されたものです。

「BSファイブ」は、常温で遠赤外線を放出する天然鉱石ブラックシリカを0.3ミクロンの超微粉末にして、粒状ポリエステルペレットにし、それを直径3ミクロンのポリエステル繊維(芯と鞘の2層構造糸)の中心に封入したものを24本束ねた繊維です。

微細化し表面積を大きくした鉱石を、ポリエステル繊維の中に閉じ込めているため、遠赤外線効果が増大し、効率よく放射されます。

身につけると直ぐに遠赤外線効果で体の芯まで温まり、冷えに悩むユーザーから好評を得ています。また、繊維そのものは発熱しないのでムレにくく、四季を通じて着用できる場所もポイントです。

素材は綿と「BSファイブ」を交編したフライス生地をはじめ1.0数種類あり、メンズ・レディース肌着、ヨガ&フィットネスウェア、ウエストウォーマー、レッグウォーマー、ショール、ソックスのほか、マスク、リストバンドなどの小物まで、幅広いアイテムが商品化されています。



レッグウォーマー
足元・足首の保温に



ショール
首・肩・膝に掛けて



工場内部



会社外観

児島ジーンズ ストリート

児島ジーンズストリート
推進協議会

倉敷市児島駅前(児島商工会議所内)

086-472-4450



国産ジーンズ発祥の地として知られる倉敷市児島を訪れる人は増えていますが、「せっかく来たのに、ジーンズを買うところが分からない」という観光客の声が多くあり、それに応えるため、児島商工会議所、地元メーカーが中心となって、平成21年11月に児島ジーンズストリート推進協議会(会長真鍋寿男コレクト社長)を設立し、「児島ジーンズストリート」を誕生させました。

場所は、旧野崎家住宅(国の重要文化財)前から味野第二公園までの約400メートルの、古い商店が立ち並びレトロな雰囲気が漂う味野商店街です。

出店している主なショップは次のとおりです。

『桃太郎ジーンズ味野本店』は、本藍染めの手織りジーンズを中心にした品揃え。また、同店内の手織り工場「鶴の工房」では、独自開発の手織り機でデニム生地が織られています。

『ダニアジャパン』直営ショップは、日本古来の美がテーマの「ぬきえもん」と「ダニア」ブランドのオリジナルジーンズを、『サイオー』は、デニム、チノのデザインパンツを販売しています。『ムーサン』は、カフェとデニム小物のショップ。『ピュアブルージャパン』は、正藍屋の直営ショップで、デニムのほかシャツ・カットソーを充実。また、クラクションの直営ショップ『倉敷天領デニム』は、メイドイン岡山・倉敷ジーンズをアピールしています。



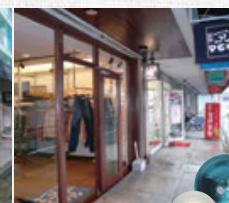
ジーンズカジュアルショップ
「サイオー」



カフェとデニム小物の「ムーサン」



「ピュアブルージャパン」



「倉敷天領デニム」

街で
ふれる
せんい

ジーンズミュージアム に年間3万人が来場

ジーンズ製造
株式会社ベティスミス

倉敷市児島下の町
086-473-4460



ジーンズミュージアム外観

「国産ジーンズ発祥の地」と言われる倉敷市児島の「ジーンズミュージアム」は、(株)ベティスミスが本社に隣接して平成15年に開設したジーンズ資料館です。木のぬくもりのある木造2階建てで、中に入ると、ジーンズの歴史が実感できます。現在、年間3万人が訪れています。

1階がジーンズの歴史と、ジーンズができるまでをテーマにしたフロア。過去のそれぞれの時代のジーンズやアメリカの中古ジーンズ、古いミシン、ポスターなど珍しい資料を展示。また、ストーンウォッシュ用の石や、デニム生地のもとになる原綿、多種類のボタンなどを並べ、ジーンズの生産工程を紹介しています。2階には、同社の歴史、オーダージーンズの受付コーナーを設けています。

入館無料。開館時間午前10時～午後5時。年末年始休館。

同社敷地内に、直営アウトレットショップ、体験工場も併設しています。

体験工場では手持ちのジーンズを独自にプリントしたり、ヒゲ付けするなど、加工作業を実際に楽しみながら、自分だけのオリジナルジーンズにリメイクすることができます。



ミュージアム1階



オーダージーンズ用のリベットやボタンのサンプル



体験工場

街で
ふれる
せんい

組合直営ジーンズショップ 「D# The Store」出店

井原被服協同組合

井原市七日市町(井原鉄道井原駅構内)

090-3740-5806

(D# The Store)



井原市の縫製企業で組織する井原被服協同組合は、平成22年6月、同市七日市町の井原線井原駅構内に、組合直営ジーンズショップ「D# The Store」(ディー・シャープ・ザ・ストア)をオープンしました。店舗面積は45平方メートル。

井原産のデニム生地を井原で縫製・加工したジーンズ、シャツ、ジャケット、小物など、組合員各社の商品を品揃えし、井原のジーンズをPRしています。

価格はジーンズで6千円から2万円まで、メーカー直売のため市価の半額近い商品も。また、井原産高品質デニムのオーダーメイドジーンズも販売しており、価格は3万円から。

営業時間は午前9時30分～午後6時30分。毎週月曜(祝日の場合は翌日)休業。

井原市はもともと藍染織物の産地で、昭和35年頃からデニム地の生産が行われており、現在、井原産のデニムは欧米中心に多く輸出され、世界で高い評価を得ています。

また昭和30年代初めには、アメリカ進駐軍の払下げジーンズを縫い直してアメ横などで販売し、縫製業も発展しました。現在、井原市は「ジーンズのふるさと」と言われています。



店舗看板



高級素材も求めやすい価格で



店内の様子 オーダージーンズにも対応

街で
ふれる
せんい

倉敷ファッション フロンティア

倉敷ファッションフロンティア
実行委員会
倉敷市児島駅前(倉敷ファッションセンター株式会社内)
086-474-6800



満員の観客で
盛り上がった
最終審査のショー



本県や倉敷市、倉敷ファッションセンター(株)などで構成される、倉敷ファッションフロンティア実行委員会は、岡山県繊維産業振興策の一環として、毎年ファッションデザインコンテストを実施しています。

ユニフォームとジーンズ&カジュアルの2部門を対象に、商品化可能な新商品開発のためのデザインを全国から募集。デザイン画による第一次審査で、各部門7点と企業賞を
入選作品として選定し、最終審査会では、入選者が制作した作品をショー形式で審査します。
同コンテストは、平成8年から行われており、毎回全国から多数の応募があります。

せんい児島 瀬戸大橋まつり

せんい児島
瀬戸大橋まつり振興会
倉敷市児島駅前(児島商工会議所内)
086-472-4450



関西、四国からも来場



地元繊維メーカーの販売コーナー

日本有数の繊維産業集積地、倉敷市児島で、毎年春と秋の年2回、繊維大即売会「せんい児島瀬戸大橋まつり」が開催されています。

毎回、会場には、地元繊維メーカーなどの200張りを超える即売テントが集合。ジーンズや作業服などが格安で販売され、大勢の人でにぎわいます。関西、四国からの来場者も多く、岡山県で集客数の多いイベントの一つに数えられています。昭和30年に第一回が開催され、「児島繊維祭」、「せんい児島まつり」と名前を変えながら今日まで続いています。

街で
ふれる
せんい

トンボ歴史資料館(八正館) トンボ・ユニフォーム ミュージアム

株式会社トンボ玉野本社工場内
玉野市八浜町
0863-51-1515



トンボ歴史
資料館(八正館)
外観



トンボ・ユニフォームミュージアム

学生服メーカー、(株)トンボの玉野本社工場敷地内にある「トンボ歴史資料館(八正館)」は、創業130年を超える同社の歴史を、創業時からのミシン、工具、設備、販促ポスターの他、足袋、小倉織・霜降り学生服などの展示物で紹介しています。

また「八正館」と同じ敷地内の「ユニフォーム開発センター」には、同社120周年記念事業で開設された「トンボ・ユニフォームミュージアム」があります。これは日本・世界のユニフォームを収蔵する制服博物館で、制服のルーツ、学ぶスタイルの変遷、英国の学校制服などのコーナーがあり、ユニフォームの歴史を学ぶことができます。

なお両施設とも事前に予約すれば、一般の人(同業者を除く)も見学できます。

児島学生服 資料館

日本被服株式会社
倉敷市児島下の町
086-473-2111



児島学生服資料館



館内展示品

学生服メーカー日本被服(株)は、本社敷地内の原反倉庫(木造2階建て260平方メートル)を改装し、児島学生服産業の歩みを紹介する「児島学生服資料館」を平成22年11月にオープンしました。1階には、高度成長期の昭和40年頃の工場写真、古いミシン、懐かしいホーロー看板のほか、戦前の霜降り、雲斎織の学生服などを展示しています。また、2階には、来館者がセラー服を着て記念写真を撮って楽しむことができるコーナーを設けています。今後も、自社に限らず他社の資料も幅広く収集し、展示紹介していく予定です。

入館無料。開館時間午前10時～午後5時。日曜日休館。